

算ステップと、受信ステップで受信した冊組が応答冊組であるとき、その応答冊組を検索する操作が繰り返し、小さな

くとも端末ステップが開通した段階で、情報を提供することを目的とする。
〔00091〕請求段1に記載の情報受信装置、請求段5に記載の情報受信方法、および請求段6に記載の提供主体においては、応答装置の応答要求に対する被験者回答に対応してボイントが表示され、そのボイントが該応答装置を特徴とする特定情報とともに記録される
〔0010〕

するが、特許請求の範囲に記載の範囲の各手段と以下の実施の形態との対応関係を明らかにするために、各手段の後の括弧内に、対応する実施の形態（但し一例）を付し、並んで本発明の特徴を記述すると、次のようになる。但し、勿論この記載は、各手段を記載したものに限ることを意味するものではない。

〔0.01-1〕請求項1)に記載の情報送信装置は、伝送されるデータの種類に応じて、データを複数の送信手段によって送信する。例えば、図1のチューナー12によって受取ったデータと、受信手段が選択された際には、複数の応答手段によって送信される。また、複数の送信手段によって送信される場合は、オーディオデータ等の音響データを複数の送信手段によって送信する。

(0013) 試験場4に記載の初期受信装置は、番組が料金を割定する第2の判断手段(例えば、図2のステップS8)と、番組が料金番組であるとき、記憶手段に記憶されているポイントに対して課金に関する処理を行う処理手段(例えば、図2のステップS12)とをさらに備えることを特徴とする。
(0014) 図1は、本発明を適用したデジタルテレビ

ジョン放送受信機器の構成例を表している。チューナー2は、アンテナ1を介して衛星のチャンネルのデジタルデータレピジション放送を受信し、その後信号を出力するようになされている。FEC回路3は、チューナー2より供給された信号の誤り訂正を行い、トランスポート回路4に出力するようになされている。トランスポート回路4は、FEC回路3より入りされた信号から映像データV、左右の音声データL/R、制御データを分離し、映像および音声データを MPEGデータに圧縮するとともに、視聴者の放送受信権利の内容などに関するコンテンツライセンスに関するデータを含む制御データを含む。

より供給された映像データと音声データをデコードし、ポイントを加算しないだけでなく、相手的にポイントを

[0026] 次にステップS6に進み、コンディショナルアクセスインターフェースは、視聴者の応答内容をスマートカード10に記録させる。ステップS7では、コマーシャル番組における応答要求が終了したか否かが判定され、終了していない場合には、ステップS4に戻り、それ以降の処理が繰り返し実行される。応答要求が終了したと判定された場合、ステップS1に戻り、それ以降の処理が繰り返し実行される。

[0027] このほか、例えばコマーシャル番組の中

お、この明細書においては、ドラマ、ニュース、映画な
番組がコマーシャル番組であるか否かを判定する。な
フローチャートに示すような処理を実行する。最初にス
テップS1において、チューナーが、いま受信している
コンディショナルアクセスインターフェースは、図2の
[0022] このような受信処理が行われているとき、
イスプレイAとスピーカーBに出力する。

口セッサ6は、入力された映像データと音声データとを
処理し、アナログビデオ信号と音声信号に変換して、デ

に、商品という)を規制者に宣伝するコマーシャルも番組の1つとして説明する。【0023】いま受信している番組がコマーシャル番組である場合には、ステップS2に進み、コンディションナルアクセスインタフェース9は、そのコマーシャル番組が、視聴者に対して応答を要求する番組であるか否かを判定する。コマーシャル番組が応答を要求番組であるか否かは、番組の送信側において、応答要求番組であるか否かを示すフラグを送出するようすれば、受信側において、番組がコマーシャル番組ではないと判定した場合、コンディショナルアクセスインタフェース9はステップS8に進み、いま受信している番組が料金番組であるか否かを判定する。いま受信している番組が料金番組ではない場合、ステップS1に戻る。従って、無料の通常の番組に入力を要求したり、好みの色を選択入力させたりして、いわゆるアンケートに対応して回答させ、その応答結果をスマートカード10に記録させることができる。【0028】ステップS1において、いま受信している番組がコマーシャル番組ではないと判定した場合、コンディショナルアクセスインタフェース9はステップS8に進み、いま受信している番組が料金番組であるか否かを判定する。いま受信している番組が料金番組ではない場合、ステップS1に戻る。

ヨナルアクセシティファーストは、いま受信している番組が応答要求番組である場合には、ステップS3において、スマートカード10の内蔵するメモリに、いま受信しているコマース・シャリアル番組のIDを記憶させる。
[0.024] 応答要求番組においては、番号を直通する画像が表示された後、例えば、図3に示すように、「この商品がお好きな方は番号5を押して下さい」のようなメッセージが表示される。聴取者は、このメッセージに応答する場合、リモートコントローラ31のテンキー3は、ステップS10で、現在のポイントを右斜放送の支

8の処理が繰り返し実行されることになる。
[0.029] ステップS8において、いま受信している番組が右斜放送であると判断された場合、ステップS9における右斜放送番組であると判断された場合、ステップS9に進み、コンディショナルアクセシティファーストはスマートカード10に現状記憶するボタン点を認みさせ。例えば、図4に示すように、「このポイントを右斜放送の支払いに利用しますか?」のようなメッセージとともに、ディスプレイ18に表示させる。聴取者は

—23-3のI.R送信部3から、この番号5のキーに対応する信号がR信号として出力される。この信号は、I.R受信部1-2で受信され、マイクロプロセッサ8に、その映出信号が供給される。マイクロプロセッサ8は、この映出信号が入力されたとき、番号5のキーが操作されたことを示す信号をコンディショナルアクセスインターフェース9に出力する。

【0-3-1】ポイントを有料放送の支払いに利用すると、
【0-3-0】ポイントを有料放送の支払いに利用すると
の人がなされた場合には、ステップS1-2において、

ステップS1-1において、リモートコントローラー1のテンキー3-2のうち、YESに対応する番号1のキーを操作し、有料放送の支払いに利用しない場合には、ステップS1-4において、NOに対応する番号3のキーを操作する。

[0025] コンディショナルアクセスインターフェース9は、ステップS4において、マイクロプロセッサ8から得た信号をモニタすることにより、複数者は、コマーシャル番組の応答要求に対応して、応答を行ったか否かを判断する。応答を行った場合は、ステップS5に進み、コンディショナルアクセスインターフェース9は、スマートカード10に記憶されているポイントが250点である所定の額を加算させる。複数者が、コマーシャル番組の応答要求に対して応答しない場合には、ステップS5のポイント加算処理はスキップされる。なお、場合によっては、複数者が応答要求に対して応答しない場合には、現在のポイントから有料放送の料金に対応するポイントを相殺する処理が実行される。すなわち、コンディショナルアクセスインターフェース9は、スマートカード10に記憶している現在のポイントから、いま発生しようとしている有料番組の料金に対応するポイントの分だけ減算させる。例えば、現在のポイントが250点であり、その番組料金に対応するポイントが50点である場合、新たなポイントは200点とされ、その番組の料金に対応するポイントが300点である場合、新たなポイントは-50点とされる。

[0031] 次にステップS13で、更新後のポイント

三

がより大きいか否かが判定され、大きい場合、ステップS 1 の課金処理が行われず、ステップS 1 に戻る。
 (0032) 更期後のポイントがより大きくなりない場合(負である場合)、またはステップS 1 4 の処理の次にステップS 1 5 に進み、有料番組の料金に対する課金処理が実行される。このとき、コンディショナルアクセスインターフェース9は、ステップS 1 4において、ポイントを有料放送の支払いに利用しないとの入力がなされている場合には、通常の課金処理を実行する。すなわち、いま規範している有料放送の番組の料金を、スマートカード1 0 に記憶されている、それまでの受信料金に加算する。これに対して、ポイントによる有料放送の料金の相殺が行われ、更新後のポイントがマイナスである場合には、そのマイナスのポイントに対応する分だけ料金の加算が行われる。
 (0033) 以上のようにして、規範者は、コマーシャル番組の応答要求に対して応答するとポイントが加算され、その加算されたポイントの分だけ、有料番組を安く視聴することができるようになる。
 [0034] このようなサービスは、コマーシャル番組における応答要求に対して応答するとポイントができない。例えば、コマーシャル番組を単に見ているだけでは、こゝのサービスを受けることができない。しかも、応答要求は、コマーシャル番組を規範者に視聴するか不明であるため、規範者は、コマーシャル番組を始めから終わりまで規範しない限り、このサービスを受けることができないことになる。その結果、コマーシャル番組の提供者は、コマーシャル番組を規範者に視聴させることができることになる。

(0035) 次に、図5のフローチャートを参照して、有料番組の課金処理について説明する。番組提供者は、ステップS 3 において、所定の規範者のスマートカード1 0 に記憶されている課金データの読み出しを指令する。この指令は、例えは、所定の規範者を特定するIDを記述することで行つたり、電話回線を介して行うことができる。電話を介して課金データの読み出しを指令した場合、トランスポート回路4 を介してコンディショナルアクセスインターフェース9に、その読み出し指令が供給される。電話回線を介して、この読み出し指令が出力された場合、モデム1 1 からマイクロプロセッサ8に、この指令が入力される。マイクロプロセッサ8は、この指令をコンディショナルアクセスインターフェース9に出力する。

(0036) コンディショナルアクセスインターフェース9は、このようにして、課金データ読み出し指令が供給されると、スマートカード1 0 に記憶されている、それまでの課金データを読み出し、これをマイクロプロセッサ8は、課金データに記憶する。マイクロプロセッサ8は、この読み出しを指す。コンディショナルアクセスインターフェース9は、マイクロプロセッサ8を介して、スマートカード1 0 に記憶する。

いま規範している有料放送の番組の料金を、スマートカード1 0 に記憶されている、それまでの受信料金に加算する。これに対して、ポイントによる有料放送の料金の相殺が行われ、更新後のポイントがマイナスである場合には、そのマイナスのポイントに対応する分だけ料金の加算が行われる。

(0037) 以上のようにして、規範者は、コマーシャル番組の応答要求に対して応答するとポイントが加算され、その加算されたポイントの分だけ、有料番組を安く視聴することができるようになる。

[0038] このようなサービスは、コマーシャル番組における応答要求に対して応答するとポイントができない。

（0039）このようにして、規範者は、コマーシャル番組を単に見ているだけでは、このサービスを受けることができない。しかも、応答要求は、コマーシャル番組を規範者に視聴するか不明であるため、規範者は、コマーシャル番組を始めから終わりまで規範しない限り、このサービスを受けることができないことになる。その結果、コマーシャル番組の提供者は、コマーシャル番組を規範者に視聴させることができることになる。

(0040) 次に、図5のフローチャートを参照して、有料番組の課金処理について説明する。番組提供者は、ステップS 3 において、所定の規範者のスマートカード1 0 に記憶されている課金データの読み出しを指令する。この指令は、例えは、所定の規範者を特定するIDを記述することで行つたり、電話回線を介して行うことができる。電話を介して、コマーシャル番組提供者がこのデータを送出することができる。

(0041) 上記実施の形態においては、モデム1 1 を利用して電話回線を介して、番組提供者側とデータを授受するようしたが、双方のチャンネルを有するケーブルテレビジョンシステムなどにおいては、上り方向のチャンネルを利用して、データを番組提供者側に伝送するようにすることができる。

(0042) これは、コンディショナルアクセスインターフェース9が、このように、コマーシャル番組を確実に、規範者に視聴させることができ、応答データを収集し、分析することができる。

(0043) 上記実施例においては、ポイントを有料番組の料金に充足させるようにしたが、例えは、商品を規範者にプレゼントするようにすることもできる。図7

は、この場合の処理例を表している。

(0044) 最初にステップS 3 において、規範者は、リモートコントローラ3 1 の所定のキーを操作し

て、スマートカード1 0 に記憶されている現在のポイントの読み出しを指す。コンディショナルアクセスインターフェース9は、マイクロプロセッサ8を介してこの

み出し指揮者にこれを伝達させる。番組提供者側においては、ステップS 3 2 において、この課金データを受信する。そして、ステップS 3 3 において、受信した課金データに対応する課金処理を行ふ。例えば、課金データに対応する請求書をその規範者に発行したり、クレジットカードによる決済処理を行う。

(0045) また、番組提供者は、図6のフローチャートに示すような処理を行うことにより、スマートカード1 0 に記憶された応答データを収集することができる。

最初にステップS 4 1 において、応答データ読み出し指令が所定の規範者に出力される。この読み出し指令は、図5のステップS 3 1 の課金データ読み出し指令と同様に、電波または電話回線を介して出力することができる。

この指令に対応して、受信側においては、コンディショナルアクセスインターフェース9が、スマートカード1 0 に記憶されている応答データ(図2のステップS 6 で記録されたデータ)を読み出し、これをマイクロプロセッサ8に出力する。マイクロプロセッサ8は、モデム1 1 を制御し、この応答データを電話回線を介してコマーシャル番組提供者に伝達させる。コマーシャル番組提供者側においては、ステップS 4 2 で、この応答データを受信する。そして、ステップS 4 3 において、ステップS 4 2 で受信した応答データを処理する。

(0046) 上述のように、この応答データには、コマーシャル番組を介して行ったアンケートの結果が含まれている。そこで、コマーシャル番組提供者は、このアンケートに対する回答を分析することで、そのコマーシャル番組を規範した世帯数の他、その商品に対して興味をもっている規範者の年代、男性女性の区別、といった細かいデータを得ることができる。また、アンケートの内容によっては、最近の規範者の嗜好、傾向なども分析することができる。このような情報は、番組提供者側において、新たな商品の開発に利用したり、必要に応じて、その情報そのものを第三者に提供することもできる。

(0047) このほか、例えは、スマートカード1 0 に記憶されているポイントを、各種商品の販売店において、クーポンに変換してもらい、その販売店において販売している規範の商品を、規範者が購入するのに利用してもらうようにすることもできる。

(0048) 上記実施の形態においては、モデム1 1 を利用して電話回線を介して、番組提供者側とデータを授受するようしたが、双方のチャンネルを有するケーブルテレビジョンシステムなどにおいては、上り方向のチャンネルを利用して、データを番組提供者側に伝送するようにすることができる。

(0049) これは、コンディショナルアクセスインターフェース9が、このように、コマーシャル番組を確実に、規範者に視聴させることができ、応答データを収集し、分析することができる。

(0050) 上記実施例においては、モデム1 1 とデータを授受するようしたが、上り方向のチャンネルがある場合、放送局側でポイントを記録するようにしてよい。

(0051) 10050 1以上、本発明をデジタルテレビジョン信号受信装置に応用した場合を例として説明したが、本発明は、その他の情報受信装置にも応用することが可能である。

[0051] 規範者は、この表示を見て、ステップS 5 3 で、所望の商品を選択する。例えは、図8の表示例で

は、カメラを希望する場合、リモートコントローラ3 1 のテンキー3 2 のうち番号1のキーを操作し、ビデオデ

シキを希望する場合、番号2のキーを操作し、CDプレーヤーを希望する場合、番号3のキーを操作する。

(0052) コンディショナルアクセスインターフェース9は、マイクロプロセッサ8を介して商品を選択する信号が入力されたとき、ステップS 5 4 において、その選択された商品が、規範者により希望されたことを示すデータを送出する処理を実行する。すなわち、このとき、

コンディショナルアクセスインターフェース9は、マイクロプロセッサ8を制御し、このデータをモデム1 1 から

プロプロセッサ8を制御し、このデータをモデム1 1 から電話回線を介して、コマーシャル番組提供者へ送出させられたとき、その規範者にその商品を配送する処理を行

う。

(0053) このほか、例えは、スマートカード1 0 に記憶されているポイントを、各種商品の販売店において、クーポンに変換してもらい、その販売店において販

売している規範の商品を、規範者が購入するのに利用してもらうようにすることもできる。

(0054) 上記実施の形態においては、モデム1 1 を利用して電話回線を介して、番組提供者側とデータを授

受するようしたが、双方のチャンネルを有するケーブルテレビジョンシステムなどにおいては、上り方向のチャンネルを利用して、データを番組提供者側に伝送する

ようすることができる。

(0055) 図1の実施の形態の動作の動作を説明する

【図2】図1の実施の形態の動作を説明するフローチャートである。

【図3】図1のディスプレイ7 A における表示例を示す

図である。図4は、図1のディスプレイ7 A における表示例を示す

図である。

【図5】図1の実施の形態の課金処理を説明するフローチャートである。

【図6】図1の実施の形態の応答データ処理を説明するフローチャートである。

【図7】図1の実施の形態の商品選択処理を説明するフローチャートである。

【図8】図7のステップS 5 2 における表示例を示す

図である。

【符号の説明】

2 チューナー, 4 トランスポート回路, 7 A テ

ィンクセイフインターフェース, 8 マイクロプロセッサ, 9 コン

ディショナルアクセスインターフェース, 10 スマートカ

ード, 11 モデム, 12 IR受信部, 31

リモートコントローラー, 32 テンキー, 33 I

R送信部

ポイント読み出しの指令が入力されたとき、ステップS 5 2 において、スマートカード1 0 に記憶されているボ

イントを読み出し、ディスプレイ7 A に、例えは、図8 に示すように表示させる。このとき、ポイントと、そのポイントによりプレゼンツ受けることができる商品が表示される。図8の表示例においては、ポイント数が1 2 5点であり、このポイントで選択できる商品は、カメラ、ビデオデッキ、またはCDプレーヤーであることが表

示されている。

【発明の効果】

5 2において、スマートカード1 0 に記憶されているボイ

ントを読み出し、ディスプレイ7 A に、例えは、図8

に示すように表示させる。このとき、ポイントと、その

が、この番組は、コマーシャル番組に限らず、各番の番組とともに可能である。

10050 1以上、本発明をデジタルテレビジョン信号受

信装置に応用した場合を例として説明したが、本発明

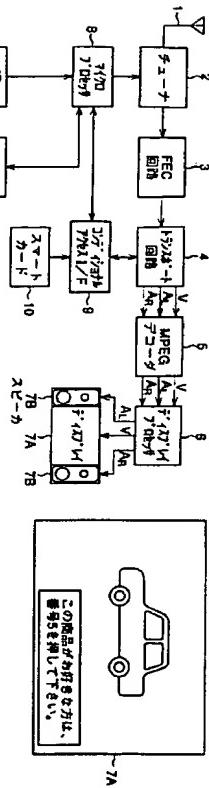
は、その他の情報受信装置にも応用することが可能であ

る。

[図1]

[図2]

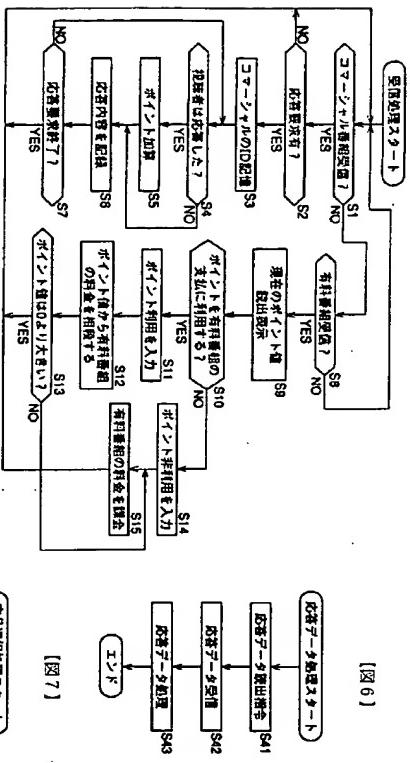
[図3]



[図2]

[図3]

[図4]

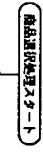


[図4]

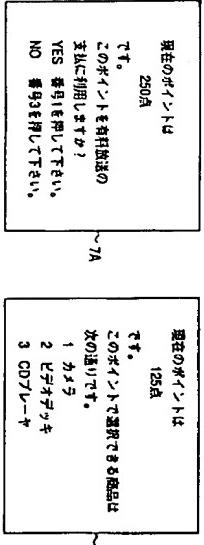
[図5]



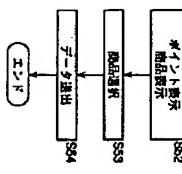
[図6]



[図7]



[図8]



[図9]